ECLIPSE

オーディオ編



AVN2205D

DVDナビゲーション内蔵
DVD/CD 7.0AVシステム



AVN4405D

DVDビデオ・ナビゲーション内蔵
DVD/CD 7.0AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

※本書の画面と実際の画面は、異なることがあります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

●製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
●仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

セクションタイトル
セクションタイトルを表示しています。

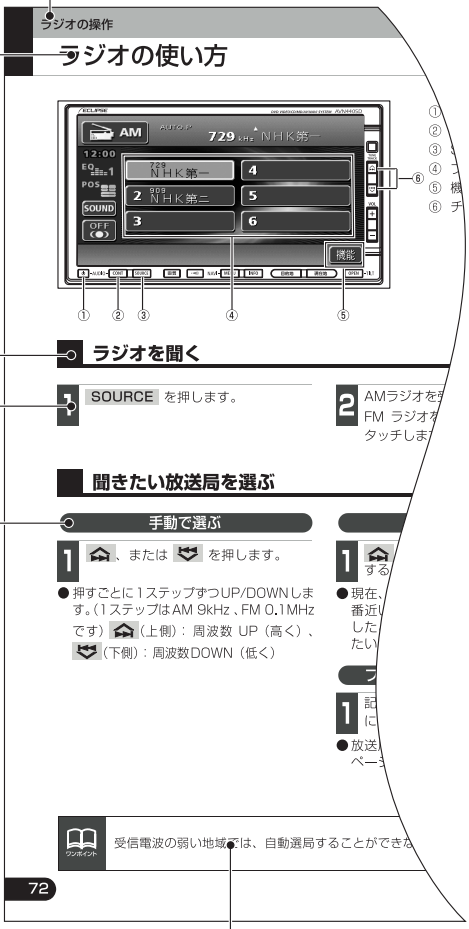
項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順
操作の内容です。
番号の順に操作してください。

詳細操作タイトル
詳細な操作目的ごとにタイトルがつけられています。

アドバイス
操作に関連することなどを記述しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。



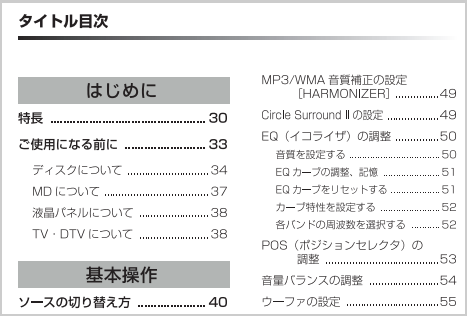
次ページに続く

操作手順が次ページに続く場合を表します。

操作画面

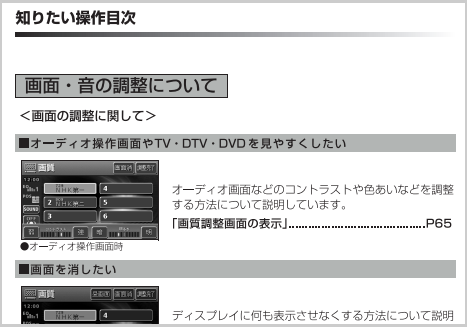
操作する画面を表示しています。

タイトル目次



本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次



各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。

操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該 当の操作を検索してお使いください。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○ （CONT ・ SOURCE など）でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。

1 つ前の画面に戻すときは 戻る にタッチすると 1 つ前の画面に戻り、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

はじめに

特長 30

ご使用になる前に 33

ディスクについて 34
MD について 37
液晶パネルについて 38
TV・DTV について 38

基本操作

ソースの切り替え方 40

ソースを切り替える 40
【SOURCE】で切り替える 40
ソーススイッチで切り替える 40

各ソースの操作画面 41

AVN4405D の操作画面 41
AVN2205D の操作画面 42

音の調整 43

主音量の調整 43
操作音の設定 43
ナビ音声の左右スピーカー出力の設定 44

音質の調整（AVN4405D の場合）..... 45

音質調整画面の表示 45
SOUND SETTING 画面を表示する 45
低音強調の切り替え［TRU BASS］ 48
小音量時の低・高音調整［LOUDNESS］ 48
MP3/WMA 音質補正の設定［HARMONIZER］ 49
Circle Surround II の設定 49
EQ（イコライザ）の調整 50
EQ（イコライザ）の調整、記憶 50
イコライザの調整値の呼び出し 51
EQ カーブをリセットする 52
POS（ポジションセレクタ）の調整 53
音量バランスの調整 54
ウーファの設定 55
ウーファの出力を切り替える 55
位相を切り替える 55
ウーファの出力を調整する 56
X-OVER（クロスオーバー）を設定する 56

音質の調整（AVN2205D の場合）..... 57

音質調整画面の表示 57
DSP（音場）の設定 58
EQ（イコライザ）の調整 59
音質を設定する 59
EQ カーブの調整、記憶 59
EQ カーブをリセットする 60
POS（ポジショニングセレクター）の調整 61
音量バランスの調整 62
LOUD の設定 63

背景画の設定 64

壁紙の設定 64
壁紙を切り替える 64

画面の調整・設定 65

画質調整画面の表示 65
ライト点灯時に昼画表示にするには 66
画面を消すときは 66
画質の調整 67
優先画面の設定 68
タッチスイッチの表示切り替え 69
機能スイッチの表示について 69
画面モード切り替え 70

ラジオの操作

ラジオの使い方 72

ラジオを聞く 72
聞きたい放送局を選ぶ 72
手動で選ぶ 72
自動で選ぶ 72
プリセットスイッチから選ぶ 72
放送局を記憶する 73
マニュアル（手動）で記憶する 73
AUTO.P（自動）で記憶する 73
AUTO.P で記憶した放送局を変更する 73
エリアスイッチについて 75
交通情報を受信する 75
周波数を記憶させる 75
局名スイッチについて 76
ラジオを止める 76

CD プレーヤーの操作

CD プレーヤーの使い方 78

CD を聞く 78
聞きたい曲を選ぶ 78
早送り･早戻しする 79
同じ曲を繰り返して聞く 79
曲の順番をランダムに聞く 79
聞きたい曲を探す 79
CD を止める 79

MP3/WMA プレーヤーの操作

MP3/WMA プレーヤーの使い方（AVN4405D のみ） 80

MP3/WMA を聞く 80
聞きたいフォルダを選ぶ 81
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 81
ファイル切り替えスイッチから選ぶ 81
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 81
早送り・早戻しする 81
1 つ上の階層を表示する 81
現在の階層を表示する 82
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 82
順番をランダムに聞く 82
聞きたい音楽ファイルを探す 83
音楽ファイル情報などを表示する 83
MP3/WMA を止める 83
MP3/WMA について 84
再生可能な MP3 ファイルの規格について 84
再生可能な WMA ファイルの規格について 85
ID3 タグ /WMA タグについて 85
使用できるメディアについて 85
使用できるディスクのフォーマットについて 86

ファイル名について 87
CD-R、CD-RW について 87
マルチセッションについて 87
MP3/WMA の再生について 87
MP3/WMA の演奏時間表示について 87
MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番 88
MP3/WMA ファイルの再生順番 89
MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方 90
インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合 90
音楽 CD から MP3/WMA ファイルに変換する場合 90
CD-R/RW に書き込む場合 90
CD-R/RW を再生する場合 90

CDチェンジャーの操作

CD チェンジャーの使い方 92
CD を聞く 92
聞きたい曲を選ぶ 93
早送り・早戻しする 93
聞きたい CD を選ぶ 93
聞きたい曲や同じ CD を繰り返し聞く 93
いま聞いている曲を繰り返し再生する 93
いま聞いている CD を繰り返し再生する 93
曲の順番をランダムに聞く 94
いま聞いている CD の中からランダムに聞く 94
チェンジャー内全 CD の中からランダムに聞く 94
チェンジャー内の全 CD から聞きたい曲や CD を探す 95
聞きたい曲を探す 95
聞きたい CD を探す 95
CD を止める 95

MDチェンジャーの操作

MD チェンジャーの使い方 96
MD を聞く 96
聞きたい曲を選ぶ 96
早送り・早戻しする 96
聞きたい MD を選ぶ 96
聞きたい曲や同じ MD を繰り返し聞く 97
いま聞いている曲を繰り返し再生する 97
いま聞いている MD を繰り返し再生する 97
曲の順番をランダムに聞く 98
いま聞いている MD の中からランダムに聞く 98
チェンジャー内の全 MD の中からランダムに聞く 98
チェンジャー内の全 MD から聞きたい曲や MD を探す 99
聞きたい曲を探す 99
聞きたい MD を探す 99
MD のタイトルや曲名などを表示する 99
MD を止める 99

TVの操作

TV の使い方 100
TV を見る 101

見たいチャンネルを選ぶ 102
手動で選ぶ 102
自動で選ぶ 102
プリセットスイッチから選ぶ 102
チャンネルを記憶する 102
マニュアル（手動）で記憶する 102
AUTO.P（自動）で記憶する 102
AUTO.P で記憶したチャンネルを変更する 102
TV 設定画面の切り替え 104
エリアスイッチについて 104
局名スイッチについて 105
音声多重放送を切り替える 105
TV モードを終わる 106

DVD/VTRの操作

DVD プレーヤーをお使いになる前に（AVN4405D のみ） 108
DVD ビデオの特長 108
マルチ音声機能について 108
マルチアングル機能について 108
字幕表示機能について 109
ディスクについて 109
再生できるディスクの種類について 109
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 109
ディスクに表示されているマークについて 110
ディスクの構成について 110
操作の流れについて 111
DVD プレーヤーの使い方（AVN4405D のみ） 112
DVD を見る 112
映像を操作する 112
映像を再生する 113
早送り・早戻しする 113
映像を一時止める 113
映像を止める 113
ディスクメニューを操作する 114
DVD を止める 114
見たい映像を探す 114
チャプターから探す 114
タイトル番号から探す 115
メニュー番号から探す 115
タッチスイッチの表示を切り替える 116
タッチスイッチを消す 116
タッチスイッチの表示場所を切り替える 116
画面表示・音声の切り替え 117
アングルを切り替える 117
字幕言語を切り替える 118
音声言語を切り替える 119
DVD プレーヤーの設定 120
音声言語を設定する 121
字幕言語を設定する 121
メニュー言語を設定する 122
マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する 122
視聴制限を設定する 123
映像出力を切り替える 124
言語コード一覧 125
VTR の使い方 126
VTR を見る 126
VTR 設定画面の切り替え 126
VTR モードを終わる 127

ご参考に

知っておいて
いただきたいこと 128

こんなメッセージが
表示されたときは 128

故障とお考えになる前に 130

用語説明 132

索引 134

知りたい操作目次は各機能の説明ページを簡単に検索できます。操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

MEMO



画面・音の調整について

＜画面の調整に関して＞

■オーディオ操作画面やTV・DTV・DVDを見やすくしたい



●オーディオ操作画面時

オーディオ画面などのコントラストや色あいなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」.....P65

■画面を消したい



● オーディオ操作画面時

ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」.....P66

■壁紙を切り替えたい



壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙を切り替える」.....P64

■画面をワイドモードにしたい



TVやDTV、DVD、VTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」.....P70

＜音の調整に関して＞

■音量をかえたい



音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」.....P43

■ナビ音声を出力するスピーカーをかえたい



ナビ音声を左右どちらかのスピーカーから出力するかを設定できます。

「ナビ音声の左右スピーカー出力の設定」.....P44

＜AVN4405Dの機能＞

■音質をかえたい



車室内の音質を調整する方法について説明しています。

●低音強調を切り替えたい

「低音強調の切り替え　[TRU BASS]」.....P48



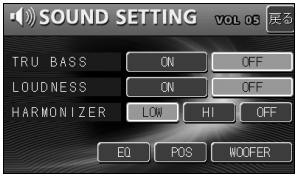
●小音量時の低音や高音を調整したい

「小音量時の低・高音調整　[LOUDNESS]」.....P48

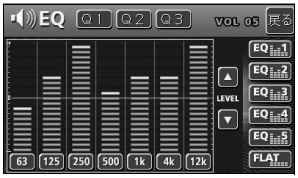


●低音の迫力感や音像の定位感を再現したい

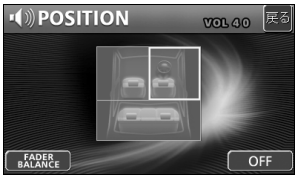
「Circle Surround IIの設定」.....P49



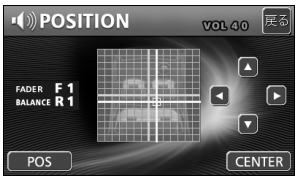
●MP3/WMAの音質を調整したい
「MP3/WMA音質補正の設定［HARMONIZER］」.....P49



●イコライザを調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」.....P50



●乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい
「POS（ポジションセレクタ）の調整」.....P53



●前後左右の音量バランスを調整したい
「音量バランスの調整」.....P62



●ウーファの位相、出力をかえたい
「ウーファの設定」.....P55

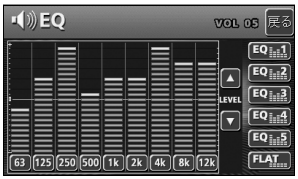
＜AVN2205Dの機能＞

■音質をかえたい

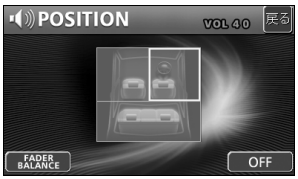


車室内の音質を調整する方法について説明しています。

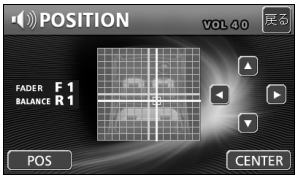
●演奏会場を擬似的に創り出したい
「DSP（音場）の設定」.....P58



●イコライザを調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」.....P59



●乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい
「POS（ポジショニングセレクター）の調整」.....P61



●前後左右の音量バランスを調整したい
「音量バランスの調整」.....P62



●小音量時の低・高音の不足感を補正したい
「LOUDの設定」.....P63

オーディオ関係

＜ラジオの使い方について＞

■ラジオを聞きたい



ラジオを受信する方法について説明しています。

「ラジオを聞く」.....P72

■放送局を探したい



放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」.....P72

■放送局を記憶させたい



選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「放送局を記憶する」.....P73

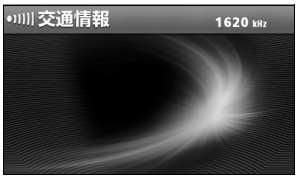
■今、いるエリアの放送局が知りたい



今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」.....P75

■交通情報を聞きたい



交通情報を聞く方法について説明しています。

「交通情報を受信する」.....P75

■重複した放送局名を切り替えたい



同じ周波数で放送局名が重複している場合、放送局名を切り替える方法について説明しています。

「局名スイッチについて」.....P76

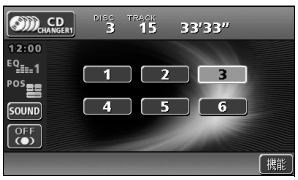
＜CDプレーヤー・CDチェンジャーの使い方について＞

■CDを聞きたい



CDを再生する方法について説明します。

「CDを聞く」..... P78, P92

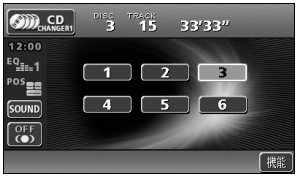


■聞きたい曲やCDを選びたい



次の曲に切り替える方法や、聞きたいCDに切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」.....P78



「聞きたいCDを選ぶ」.....P93

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない



全曲の始めの10秒間だけ再生する方法や、CDチェンジャー接続時に、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....P79



「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」....P95

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい



いま聞いている曲を繰り返し再生する方法や、CDチェンジャー接続時に、いま聞いているCDを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返して聞く」.....P79



「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く」.....P93

■いつもと違う順番で聞きたい



CDの中から任意に選曲し、再生する方法や、CDチェンジャー接続時に、CDチェンジャーの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」.....P79



「チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く」.....P94

■早送りや早戻しがしたい



曲の早送りや早戻しの方法について説明しています。

「早送り・早戻しする」.....P79

＜MP3/WMAプレーヤーの使い方について（AVN4405Dのみ）＞

■MP3/WMAを聞きたい



MP3/WMAを再生する方法について説明しています。

「MP3/WMAを聞く」.....P80

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい



聞きたいフォルダや音楽ファイルを切り替える方法についてを説明しています。

「聞きたいフォルダを選ぶ」.....P81
「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」.....P81

■階層を戻りたい/今の階層がわからない



1つ上の階層を表示する方法や、再生中の階層を表示する方法を説明しています。

「1つ上の階層を表示する」.....P81
「現在の階層を表示する」.....P82

■聞きたい音楽ファイルを探したい



再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを探す」.....P83

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい



いま聞いているフォルダを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」.....P82

■いつもと違う順番で聞きたい



再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「順番をランダムに聞く」.....P82

■音楽ファイルの情報を表示したい



ディスプレイに表示される内容を切り替える方法について説明しています。

「音楽ファイル情報などを表示する」.....P83

■MP3/WMA について知りたい

本機で再生できるMP3/WMAのデータ（規格）について説明しています。

「MP3/WMA について」.....P84

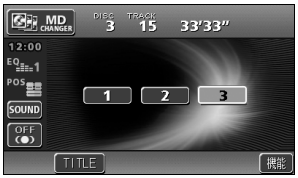
■MP3/WMA ファイルの作り方について

MP3/WMA ファイルの一般的な作り方について説明しています。

「MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方」.....P90

＜MDチェンジャーの使い方について＞

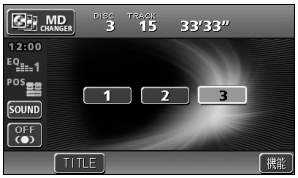
■MDを聞きたい



MDを再生する方法について説明しています。

「MDを聞く」.....P96

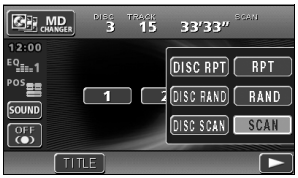
■聞きたい曲やMDを選びたい



次の曲に切り替える方法や、聞きたいMDに切り替える方法について説明しています。

「聞きたいMDを選ぶ」.....P96

■聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない



全曲の始めの10秒間だけ再生する方法や、MDチェンジャー接続時に、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....P99



「チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す」P99

■いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい



いま聞いている曲を繰り返し再生する方法や、MDチェンジャー接続時に、いま聞いているMDを繰り返し再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く」.....P97



「いま聞いているMDを繰り返し再生する」.....P97

■いつもと違う順番で聞きたい



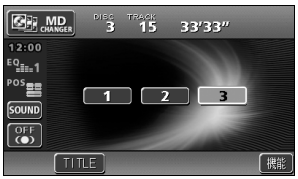
MDの中から任意に選曲し、再生する方法や、MDチェンジャー接続時に、MDチェンジャーの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」.....P98



「チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く」.....P98

■早送りや早戻しがしたい



曲の早送りや早戻しの方法について説明しています。

「早送り・早戻しする」.....P96

TVについて

＜TVの使い方について＞

■TVを見たい



TVを受信する方法について説明しています。

「TVを見る」.....P101

■放送局を探したい



チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」.....P102

■放送局を記憶させたい



選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法について説明しています。

「チャンネルを記憶する」.....P102

■TVの設定画面に表示を切り替えたい



TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」.....P104

■今、いるエリアの放送局が知りたい



今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」.....P104

■今、聞いている音声を切り替えたい



主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」.....P105

DVDビデオ／VTRに関して

＜DVDプレーヤーの使い方について（AVN4405Dのみ）＞

■DVDビデオを見たい



DVDを再生する方法について説明しています。

「DVDを見る」.....P112

■ディスクについて知りたい



ディスクのマークや再生できるディスクの種類などについて説明しています。

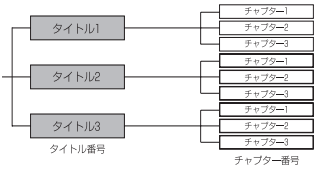
●ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」...P110



●再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」.....P109



●ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」.....P110

■ディスクに記憶されているメニューを操作したい



DVDに記録されているディスクメニューを切り替える方法について説明しています。

「ディスクメニューを操作する」.....P114

■再生している映像を操作したい



映像を操作する方法について説明しています。

「映像を操作する」.....P112

■映像を選びたい・探したい



チャプターやタイトル番号、メニュー番号などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「チャプターから探す」.....P114



「タイトル番号から探す」.....P115



「メニュー番号から探す」.....P115

■タッチスイッチの表示を切り替えたい



タッチスイッチの表示場所を切り替える方法について説明しています。

「タッチスイッチの表示場所を切り替える」.....P116

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい



DVDに記録されている音声言語や字幕言語などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「アングルを切り替える」.....P117

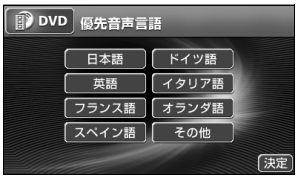


「字幕言語を切り替える」.....P118



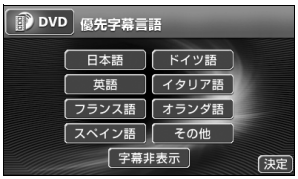
「音声言語を切り替える」.....P119

■プレーヤーの設定について知りたい

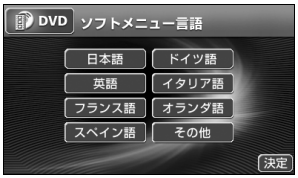


DVDプレーヤーの設定を切り替える方法について説明しています。

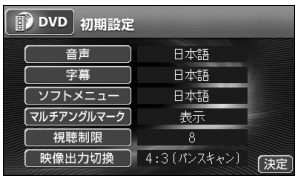
「音声言語を設定する」.....P121



「字幕言語を設定する」.....P121



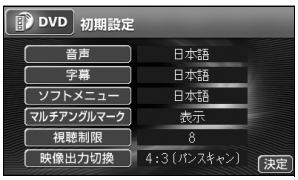
「メニュー言語を設定する」.....P122



「マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する」....P122



「視聴制限を設定する」.....P123



「映像出力を切り替える」.....P124

■VTRを使いたい



別売りのビデオ接続コードで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」.....P126

その他

＜わからなくてお困りのとき＞

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」.....P128

■故障かどうかわからない

本機が故障しているのかどうかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」.....P130

特長

多様な音楽の種類に対応する音質機能
●AVN4405D（45 ページ）
●AVN2205D（57 ページ）

車室内で再生する音楽の種類を調整することで最適な音質が設定できます。

●AVN4405D



●AVN2205D



TV・DTV（オプション）・DVD（AVN4405D のみ）・VTR 画面の明るさや色などをお好みで調整（67 ページ）

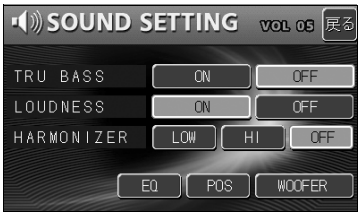
TV・DTV（オプション）・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さなどお好みに合わせて画質が調整できます。



小音量時の低・高音不足を補正するLOUDNESS機能
●AVN4405D（48 ページ）
●AVN2205D（63 ページ）

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音不足を補正して、メリハリのある音にすることができます。

●AVN4405D

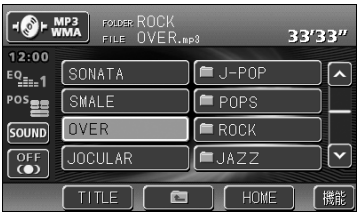


●AVN2205D



アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生する MP3/WMA プレーヤー（AVN4405Dのみ）（80 ページ）

音楽データを約 1/10 サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録した CD-R/RW の再生が可能です。また、MP3 よりも高い圧縮率の WMA データを再生することもできます。



美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVDプレーヤー（AVN4405Dのみ）（108 ページ）

高画質・高音質で記録された DVD ビデオを再生します。

（DVDは、映画１本分に相当する高画質映像と、CD を上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。）



壁紙（画面の背景）をお好みに合わせて切り替え、表示（64 ページ）

インフォメーション（情報）画面やオーディオ操作画面の壁紙（背景）をお好みに合わせて切り替えて表示できます。

ナビゲーションの画面も連動して切り替わります。

●インフォメーション（情報）画面、オーディオ操作画面の壁紙設定



自分のいる地域のTV局を表示・選局（104 ページ）

現在地で放送されている TV 局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。



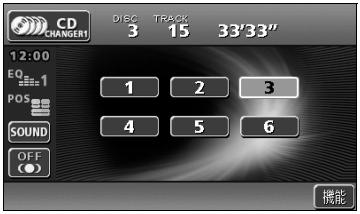
特長

システムアップ

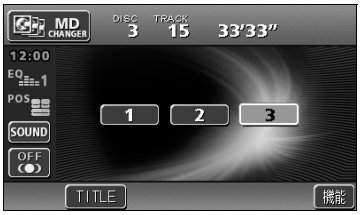
●CDチェンジャー（92 ページ）・MDチェンジャー（96 ページ）
複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、チェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

●CDチェンジャー



●MDチェンジャー



●VTR（126 ページ）
市販のVTR機器と接続すると、ビデオをご覧になることができます。

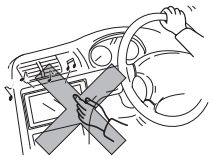


●DTV（地上デジタルTV）
本機は、DTVチューナーの接続に対応しています。DTVの操作方法については、DTVチューナーの取扱説明書をご参照ください。

ご使用になる前に

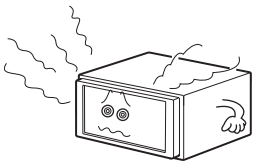
注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



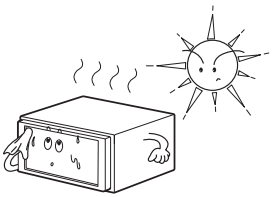
交通事故の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変な匂いがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



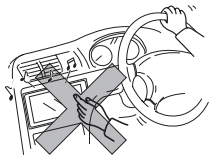
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



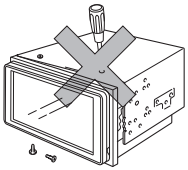
故障の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



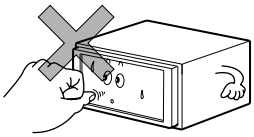
交通事故の原因となります。

分解、改造はしないでください。



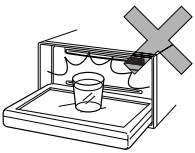
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



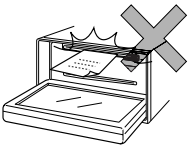
故障の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。



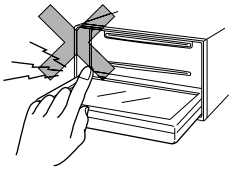
故障の原因となります。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。

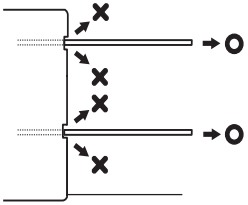


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは、水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、破損するおそれがあります。

ご使用になる前に

ディスクについて

ワンポイント

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

●音楽用CD・映像用DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込まれたディスクは再生できません。



●Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●CD- R （CD- Recordable ）、CD- RW （CD- ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD- R 、CD- RW やUDF フォーマットで書き込みされたCD- R 、CD- RW は再生できません。
●DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナラズ処理されていないDVD±R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
●CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
●記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

ワンポイント

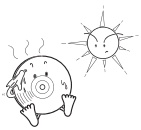
●スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます

●CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

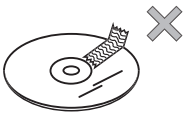
●CD-EXTRAは音楽データ部のみ再生することができます。
●Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
●Video-CDは再生できません。

ディスクの取扱いについて

●ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



●記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



●ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



●記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



●汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

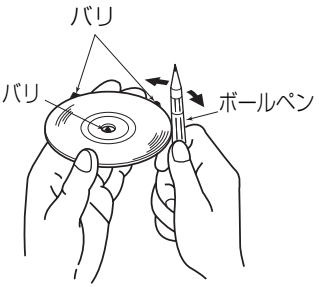


ご使用になる前に

ワンポイント

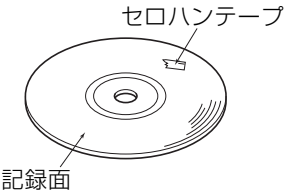
新しいディスクについて

●新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



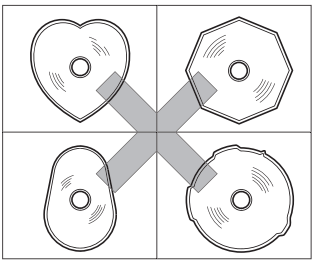
レンタルディスクについて

●ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



特殊形状のディスクについて

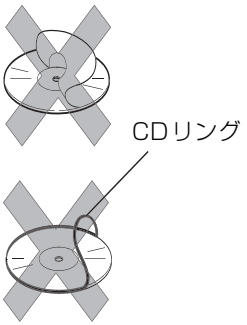
●ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

●音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

●音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CD リング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



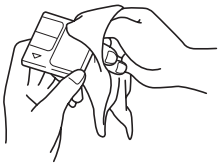
MDについて

ワンポイント

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生じることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくのあいだ、換気または除湿してからご使用ください。
●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

MDの取り扱いについて

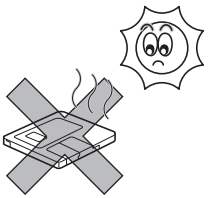
●いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



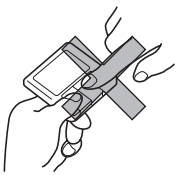
●ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



●直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MD がそり、使用できなくなります。



●シャッターを手で開けたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



ご使用になる前に

液晶パネルについて

ワンポイント

●液晶パネルはななめ方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
●太陽の光などの外光が表示部に当たると画面が見えにくくなります。

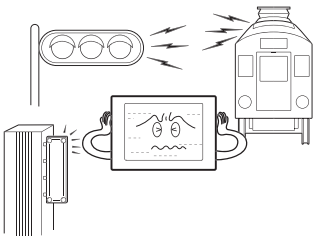
TV・DTVについて

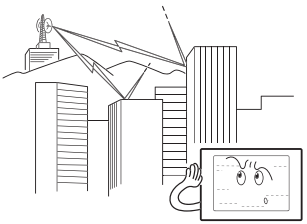
ワンポイント

●本機のTVは、地上アナログ放送が受信できます。
●地上デジタルテレビ放送を見るには
本機は地上デジタルテレビ放送を将来的に楽しむための拡張機能を装備しております。
本機能は別売予定（2006年春以降）の地上デジタル放送チューナーユニット※を接続した場合にご使用になれます。
※2005年5月現在は発売されていません。
●バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶はすべて消去されます。

車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

●電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
●電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
●ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
●トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
●放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
●一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





MEMO



ソースの切り替え方

エンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できます。

ソースを切り替える

【SOURCE】で切り替える

1 SOURCE を押して、各ソースメニューのタッチスイッチをタッチすると、オーディオのソースが切り替わります。



●ソースメニュー画面

2 CD にタッチします。

● SOURCE を押す前にナビゲーションの画面を表示していた場合は、選んだソースがオンスクリーン表示されます。



●オンスクリーン画面表示

ソーススイッチで切り替える

1 CONT を押します。

●操作画面が表示されます。

2 CD にタッチします。

●ソーススイッチにタッチすると、ソースメニュー画面が表示され、オーディオのソースを切り替えることができます。（ソースメニュー画面で、◀ にタッチすると、操作画面が表示されます）



●操作画面



●ソースメニュー画面

ワンポイント

- CD CHANGER1、CD CHANGER2、MD CHANGER の各スイッチは、オプションのCDチェンジャー、MDチェンジャーが接続されている場合に表示されます。
- DTV のスイッチは、オプションの地上デジタル放送チューナーユニットが接続されている場合に表示されます。
- オーディオの各ソース（モード）の操作画面は、41 ページのように表示されます。
- MP3 WMA、DVD の各スイッチはAVN4405Dのみ表示されます。

各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

AVN4405Dの操作画面

●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●MP3/WMAプレーヤー操作画面



●TV操作画面



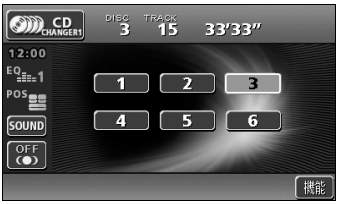
●DVDプレーヤー操作画面



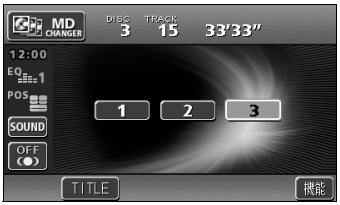
●VTR操作画面



●CDチェンジャー操作画面（オプション）



●MDチェンジャー操作画面（オプション）



●DTV操作画面（オプション）



各ソースの操作画面

AVN2205Dの操作画面

●AM操作画面



●FM操作画面



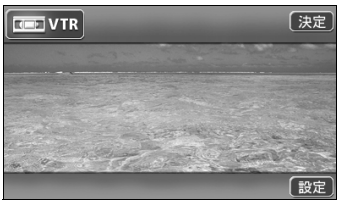
●CDプレーヤー操作画面



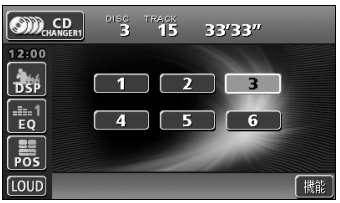
●TV操作操作画面



●VTR操作画面



●CDチェンジャー操作画面（オプション）



●MDチェンジャー操作画面（オプション）



●DTV操作画面（オプション）



音の調整

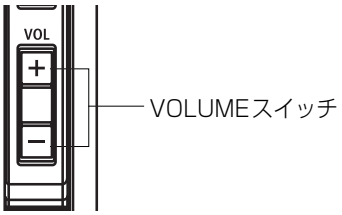
主音量の調整

1 VOLUMEスイッチを押します。

●調整レベルは0～80です。

＋（上側）：音量UP（大きくなる）

－（下側）：音量DOWN（小さくなる）



操作音の設定

パネルスイッチを押した時や、タッチスイッチにタッチした時の操作音を設定することができます。

1 INFO を押します。

2 設定 にタッチします。



3 操作音設定の 1 ～ 4、または OFF にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。

●OFF にタッチすると、操作音が解除（消音）されます。



4 設定完了 にタッチします。

音の調整

ナビ音声の左右スピーカー出力の設定

ナビゲーション操作の手引きを説明する音声や、ルート案内中に聞こえる音声を左右どちらかのスピーカーから出力するかを設定します。

1 INFO を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 ナビ音声設定の **左側スピーカー** または **右側スピーカー** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。



4 **設定完了** にタッチします。

ワンポイント

●初期設定値は「右側スピーカー」に設定されています。
●音声案内中に設定を変更すると、音声案内が停止します。

音質の調整（AVN4405Dの場合）

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。
本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

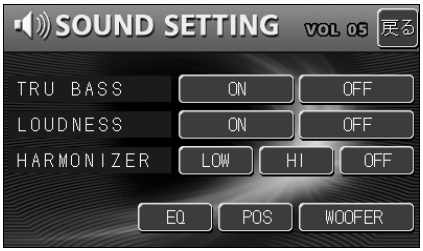
音質調整画面の表示

SOUND SETTING画面を表示する

■オーディオ操作画面から
（AM・FM・CD・MP3／WMA・MD・CDチェンジャー・MDチェンジャー）

1 操作画面で **SOUND** にタッチします。





●SOUND SETTING画面

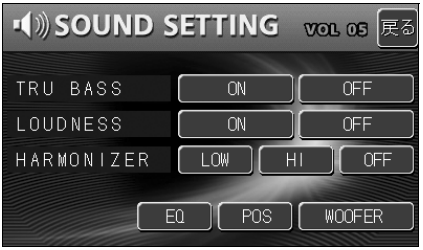
■TV・DTV・VTR操作画面から

1 操作画面で **設定** にタッチします。



2 設定画面で **SOUND** にタッチします。





●SOUND SETTING画面

音質の調整（AVN4405Dの場合）

■DVD操作画面から

1 操作画面で NEXT にタッチします。

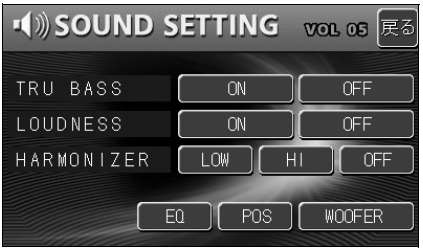


2 設定画面で 設定 にタッチします。



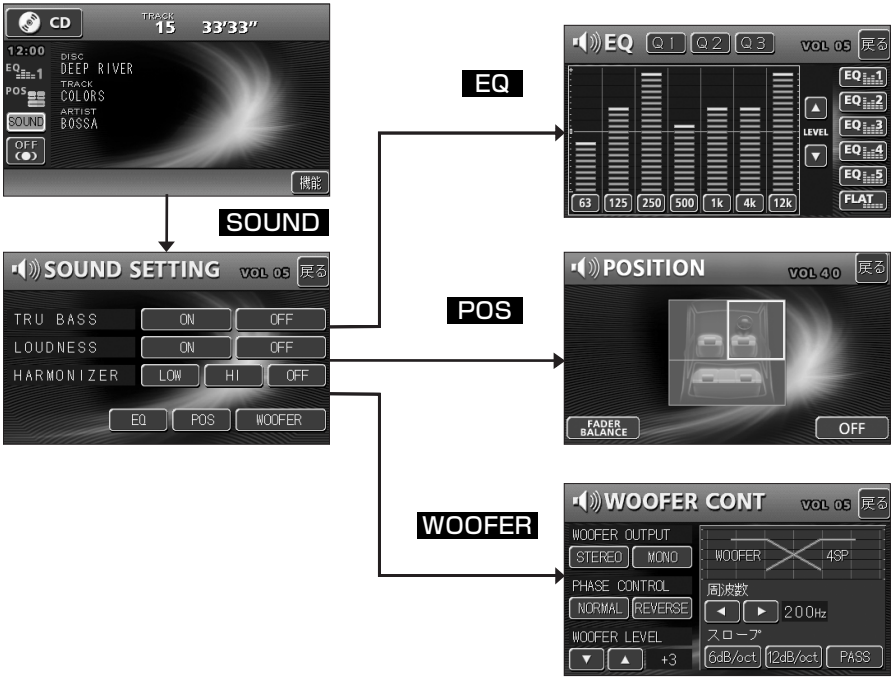
3 SOUND にタッチします。





●SOUND SETTING画面

●SOUND　SETTING画面からの操作の流れ



■簡単にできる音場・音質設定

項目・タッチスイッチ	機　能	ページ
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	50
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	53
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	48
TRU BASS	低音強調を切り替えることができます。 （Circle Surround IIがLowまたはHiのときのみ）	48

■MP3／WMA 圧縮された音楽に効果のある音質補正レベル調整

項目・タッチスイッチ	機　能	ページ
HARMONIZER （ハーモナイザー）	圧縮された音楽データ（MP3／WMA）をできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	49

■サブウーファー接続時の出力・位相調整

項目・タッチスイッチ	機　能	ページ
WOOFER （ウーファ）	ウーファの位相や出力を調整することができます。	55

音質の調整（AVN4405Dの場合）

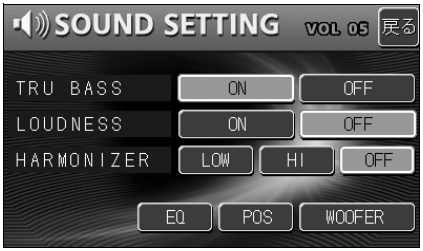
低音強調の切り替え [TRU BASS]

低音強調を切り替えます。

※Circle Surround II（49 ページ）が Low またはHiのときのみ調整できます。

1 SOUND SETTING画面で TRU BASS の **ON** または **OFF** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。



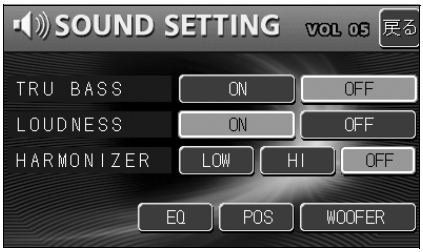
●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

小音量時の低・高音調整 [LOUDNESS]

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 SOUND SETTING画面で LOUDNESSの **ON** または **OFF** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。



●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

MP3/WMA音質補正の設定 [HARMONIZER]

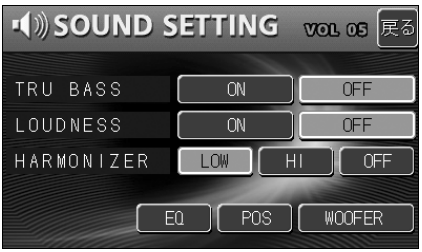
圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

1 SOUND SETTING画面で HARMONIZER の **LOW** 、または **HI** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。

● **LOW** ：補正効果が小さい。
HI ：補正効果が大きい。

● **OFF** にタッチすると、MP3/WMAハーモナイザー機能を解除します。



●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

Circle Surround IIの設定

Circle Surround II は、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現する機能です。ラジオやTVなどの音声にも適応します。ただし、AMラジオではサウンド効果が反映されません。

※Circle Surround II と SRS、(●) 記号は SRS Labs, Inc.の商標です。
※Circle Surround II技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

1 操作画面で **OFF**、**Low**、**Hi** にタッチします。

● TV・DTV・VTR操作画面では **設定**、DVD 操作画面では **NEXT** → **設定**、**設定** の順にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。

●タッチスイッチにタッチするごとに下記のように切り替わります。



● **Low** ：再現効果が小さい。
Hi ：再現効果が大きい。
OFF ：機能を解除します。



ワンポイント

Circle Surround IIは、POS（53 ページ）・LOUDNESS（48 ページ）と同時に設定できません。

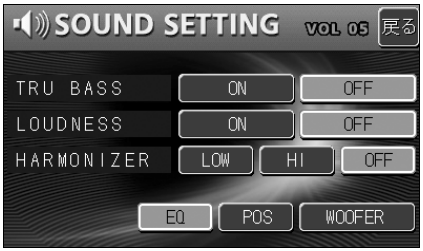
音質の調整（AVN4405Dの場合）

EQ（イコライザ）の調整

EQ（イコライザ）の調整、記憶

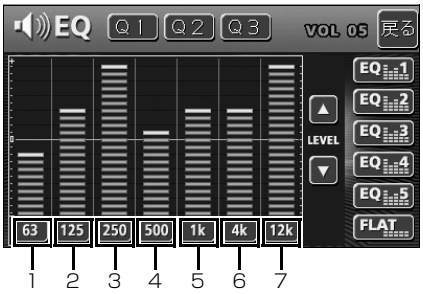
音楽に合わせて音質を調整し、記憶させることができます。また、7バンドのパラメトリックイコライザで、中心周波数や周波数レベル、Q カーブ（帯域幅）を調整することができます。

1 SOUND SETTING 画面で **EQ** にタッチします。



2 各バンドの周波数にタッチして、 調整したい周波数（中心周波数）を選択します。

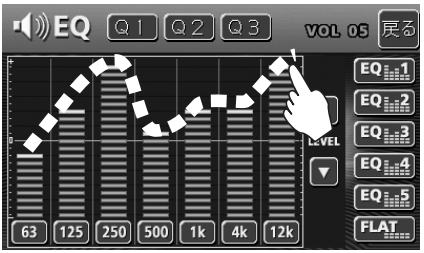
- タッチするごとに中心周波数が切り替わります
- 各バンドと切り替わる周波数については右記の表を参照してください。



バンド	中心周波数（Hz）
1	63 → 80 → 100
2	125 → 160 → 200
3	250 → 315 → 400 → 500
4	630 → 800 → 1k → 1.25k
5	1.6k → 2k → 2.5k → 3.15k
6	4k → 5k → 6.3k → 8k
7	10k → 12.5k → 16k

3 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチします。

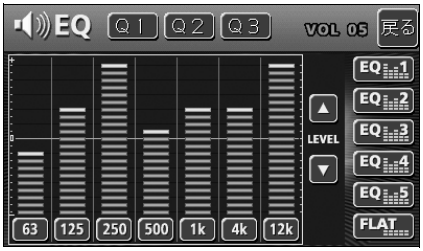
- ▲、▼ にタッチして、微調整することができます。



4 Q1、Q2、Q3 のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。

●各バンドごとに Q カーブパターンを選択することができます。

●▲ または ▼ にタッチすると、選択周波数レベルを11段階（-5～+5）で調整できます。

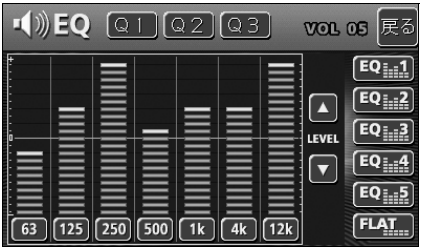


タッチスイッチ	Q カーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）

5 記憶したいスイッチ EQ1 ～ EQ5 を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●イコライザの調整値が記憶されます。

●設定完了後、戻るにタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



イコライザの調整値の呼び出し

記憶したイコライザの調整値を呼び出します。

1 記憶したスイッチ EQ1 ～ EQ5 にタッチします。

●イコライザの調整値が呼び出されます。

ワンポイント

●微調整時に ▲、▼ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼ にタッチしてください。

●FLAT にタッチすると、センター値にもどります。

音質の調整（AVN4405Dの場合）

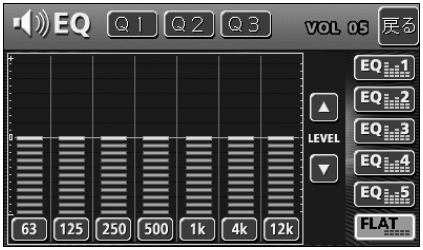
EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブを初期値に戻すことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

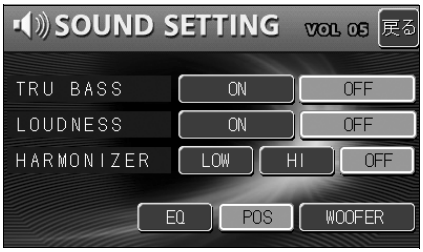
●イコライザカーブが初期値にリセットされます。



POS（ポジションセレクタ）の調整

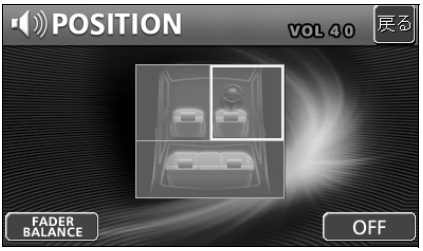
人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
切り替えたポジション（位置）に対して前後左右の音量バランスを調整することができます。

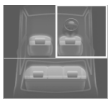
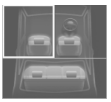
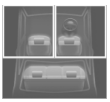
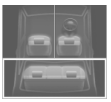
1 SOUND SETTING 画面で **POS** にタッチします。



2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは黄色の枠が表示されます。再度タッチすると設定は解除されます。表のような４つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、すべての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチしてください。設定されたポジションは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。



表示				
ポジション（位置）	運転席を中心にした音場	助手席を中心にした音場	前席を中心にした音場	後席を中心にした音場

ワンポイント

- 本機は右ハンドル車を基本としています。
- POS（ポジションセレクタ）を選択した場合、FADER/BALANCE（フェーダー・バランス）がそれぞれ「0（センター）」に戻ります。

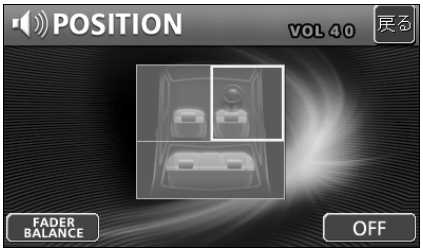
音質の調整（AVN4405Dの場合）

音量バランスの調整

設定したポジション別に前後左右の音量バランスを調整することができます。

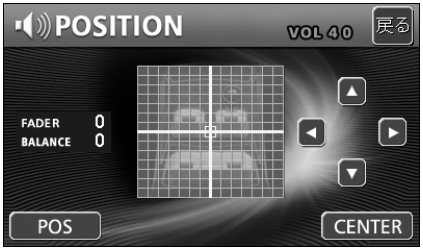
1 SOUND SETTING 画面で **POS** にタッチします。

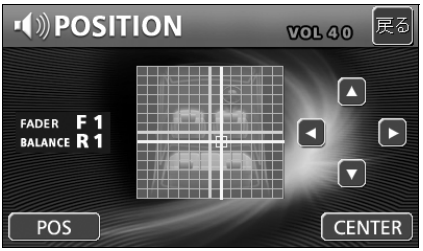
2 **FADER BALANCE** にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

●バランスポイントはそれぞれ31段階（R15～L15、F15～R15）の範囲で調整できます。





●微調整するときは ▲、▼、◀、▶ にタッチしてください。

●調整完了後、**戻る** にタッチすると調整は記憶され、直前の画面に戻ります。

● **CENTER** にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。

●設定された音量バランスは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

●再度ポジション設定を行いたいときは、**POS** にタッチして切り替えてください。

ワンポイント

●微調整時に ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合はロックするので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

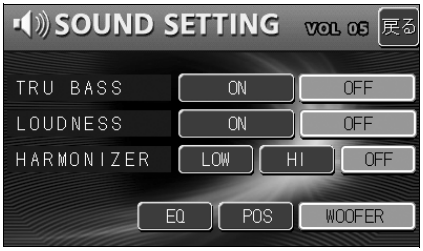
●FADER/BALANCE（フェーダー・バランス）を調整した場合、POS（ポジションセレクタ）が **OFF** になります。

ウーファの設定

ウーファの出力を切り替える

ウーファの出力をステレオ・モノラルに切り替えることができます。

1 SOUND SETTING 画面で**WOOFER**にタッチします。



2 **STEREO** または **MONO** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。

● **STEREO** ：ステレオ出力
MONO ：モノラル出力



●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

位相を切り替える

ウーファから出力される音の中には、フロント / リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相を設定することができます。

1 WOOFER CONT 画面で **NORMAL** または **REVERSE** にタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなります。

● **NORMAL** ：各スピーカーとウーファの出力タイミングを同じにする。
REVERSE ：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす。



●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

音質の調整（AVN4405Dの場合）

ウーファの出力を調整する

ウーファの出力レベルを調整することができます。

1 WOOFER CONT 画面で WOOFER LEVELの ▲ または ▼ にタッチします。

●出力レベルを13段階（-6～+6）に調整できます。



●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

X-OVER（クロスオーバー）を設定する

カットオフ周波数、スロープが選択できます。

1 WOOFER CONT画面でお好みのカットオフ周波数、スロープを調整します。



●◀、▶ ： カットオフ周波数の選択
63/80/100/125/160/200 Hz の中から1 Band選択できます。

●**6 dB/oct**、**12 dB/oct**、**PASS** ： スロープの選択

音質の調整（AVN2205Dの場合）

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質調整画面の表示

■操作画面から

ＴＶ・DTV・ＶＴＲ操作画面では **設定** にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。



タッチスイッチ・項目	機　能	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	58
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	59
POS	人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。	61
FADER BALANCE	前後、左右の音量バランスを調整することができます。	62
LOUD	オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。	63

音質の調整（AVN2205Dの場合）

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現できます。

1 DSP にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- ▲、▼ にタッチすると、レベルを11段階（－5～＋5）に調整できます。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	球場
CLUB	ディスコ・クラブ
OFF	DSP OFF

EQ（イコライザ）の調整

音質を設定する

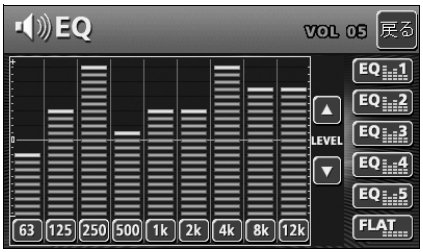
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定された音質モードは記憶され、直前の画面に表示が戻ります。

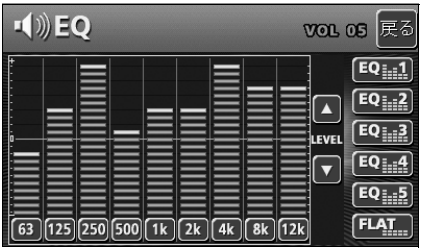


タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



2 微調整するときは、調整したい周波数選択スイッチにタッチします。

3 画面右の ▲、▼ にタッチして微調整します。

4 記憶したいタッチスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチしてください。設定された音質モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

音質の調整（AVN2205Dの場合）

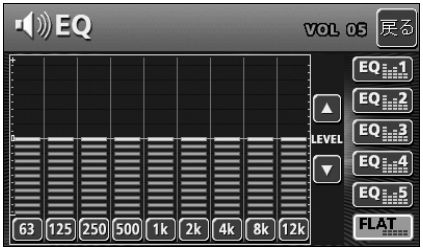
EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブやあらかじめ設定されているイコライザカーブを初期値に戻すことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●イコライザカーブが初期値にリセットされます。



POS（ポジショニングセレクター）の調整

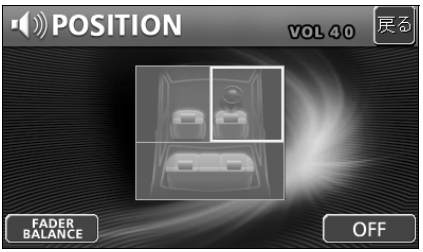
人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
切り替えたポジション（位置）に対して前後左右の音量バランスを調整することができます。

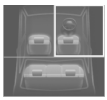
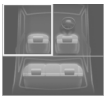
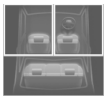
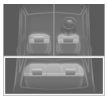
1 POS にタッチします。



2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは黄色の枠が表示されます。再度タッチすると設定は解除されます。表のような４つのポジションに設定できます。
- OFF にタッチすると、すべての設定は解除されます。
- 設定完了後、戻る にタッチしてください。設定されたポジションは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。



タッチスイッチ				
機能	運転席を中心にした音場	助手席を中心にした音場	前席を中心にした音場	後席を中心にした音場

ワンポイント

- 音量バランスの調整-FAD/BAL（次ページ）と同時に設定できません。
- 本機は右ハンドル車を基本としています。

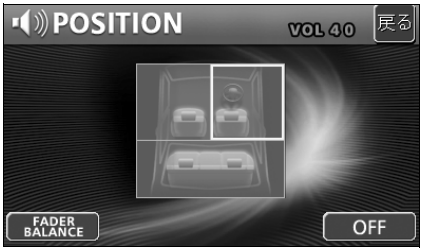
音質の調整（AVN2205Dの場合）

音量バランスの調整

設定したポジション別に前後左右の音量バランスを調整することができます。

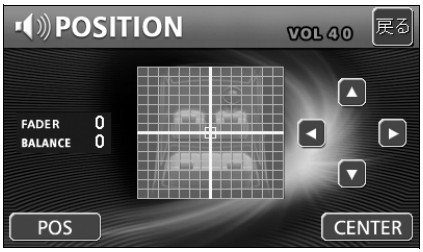
1 POS にタッチします。

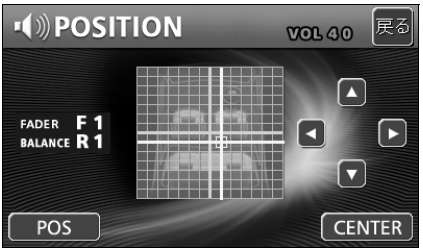
2 FADER BALANCE にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

●バランスポイントはそれぞれ31段階（R15～L15、F15～R15）の範囲で調整できます。





●微調整するときは ▲、▼、◀、▶ にタッチしてください。

●調整完了後、 戻る にタッチすると調整は記憶され、直前の画面に戻ります。

● CENTER にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。

●設定された音量バランスは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

●再度ポジション設定を行いたいときは、 POS にタッチして切り替えてください。

ワンポイント

●POS（ポジショニングセレクター）の調整（前ページ）と同時に設定できません。

●微調整時に ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合はロックするので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

LOUDの設定

1 操作画面で **LOUD** にタッチします。

- TV・DTV・VTR操作画面では **設定** にタッチすると **LOUD** が表示されます。
- タッチしタッチスイッチが明るくなります。
- もう一度 **LOUD** にタッチすると、解除されます。



ワンポイント

LOUD はPOS（61 ページ）と同時に設定できません。

背景画の設定

オーディオ操作画面やインフォメーション（情報）画面、ナビゲーション画面の背景画をお好みの壁紙に切り替えることができます。

壁紙の設定

壁紙を切り替える

1 INFO を押します。

2 設定 にタッチします。



3 背景画の 1 ～ 5 のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが明るくなり、壁紙（背景画）が切り替わります。



4 設定完了 にタッチします。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV・DTV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTRの画質を調整したり、インフォメーション（情報）画面を自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV・DTV・DVD（AVN4405D のみ）・VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・DTV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV・DTV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR画面で **画質** を押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

●約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面に戻ります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DTV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●**昼画面** のスイッチはライト点灯時に表示されます。



●オーディオ操作画面時



●TV・DTV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、**CONT** や **SOURCE** などのスイッチを押します。

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



● TV・DTV・DVD（AVN4405D のみ）・VTR画面時

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

■色合い［TV・DTV・DVD（AVN4405D のみ）・VTR画面時のみ］

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ［TV・DTV・DVD（AVN4405D のみ）・VTR画面時のみ］

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面を表示させて、約 20 秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（元の画面に戻る）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 INFO を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 **自動解除** または **継続表示** にタッチします。

●インフォメーション（情報）画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。



4 **設定完了** にタッチします。

タッチスイッチの表示切り替え

機能スイッチの表示について

オーディオ操作画面やTV設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

1 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって違います。



- ▶ にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。



画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 TV・DVD（AVN4405Dのみ）・VTR操作画面で **設定** にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

●TV操作画面のみ、**機能** → **ワイドモード** の順にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。

●ワイドモードを選択します。





■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

注意	お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ プリセットスイッチ
⑤ 機能スイッチ
⑥ チューニングスイッチ

ラジオを聞く

1 SOURCE を押します。

2 AMラジオを受信するときは AM に、FM ラジオを受信するときは FM にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を押します。

●押すごとに1ステップずつUP/DOWNします。(1ステップはAM 9kHz、FM 0.1MHzです) ⏭(上側):周波数 UP(高く)、⏮(下側):周波数DOWN(低く)

自動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

●現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

●放送局の記憶は**「放送局を記憶する」**73ページを参照してください。

ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局することができないことがあります。

放送局を記憶する

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）と AUTO.P（自動）の 2 つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面の上部に表示されていないことを確認します。

●表示されているときは **機能** にタッチし、**AUTO.P**、または **エリア** をタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **機能** にタッチします。

2 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、**AUTO.P** にタッチすると、元の記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

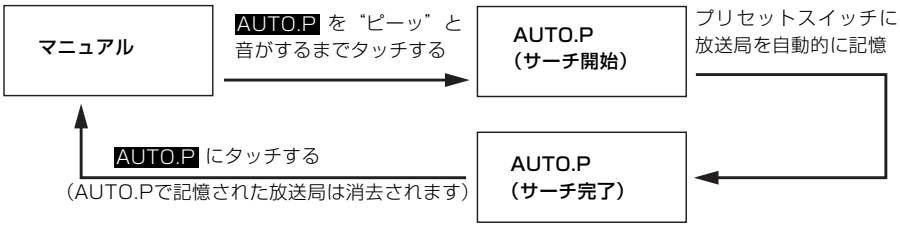
ラジオの使い方

■AUTO.Pについて

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます)

AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- ●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- ●同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局と AUTO.P スイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- ●AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- ●受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- ●受信できた放送局が 6 局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。



2 **エリア** にタッチします。

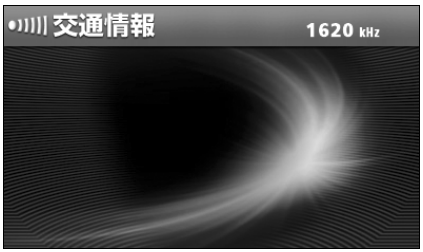
- “AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、マニュアル設定に戻ります。



交通情報を受信する

1 ･ıllll) を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。（AM モード時のみ）
- もう一度 ･ıllll) を押すと交通情報画面は解除されます。



周波数を記憶させる

1 **AM** にタッチします。

2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 ･ıllll) を“ピッ”と音がするまで押します。

ワンポイント

- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定値は「1620kHz」に設定されています。
- バッテリーなどを交換したときは 1620kHzに戻ります。

ラジオの使い方

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数で放送局名が重複している地域で表示されます。

1 **機能** にタッチします。



2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。



ラジオを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が再受信されます。



MEMO



CDプレーヤーの使い方



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ 機能スイッチ
⑤ 選曲・頭出し・早送り（早戻し）スイッチ

CDを聞く

ディスク差し込み口に CD を差し込むと再生を始めます。

1 CDが差し込まれてるときに **SOURCE** を押します。

2 **CD** にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（上側）：次曲を選ぶとき
⏮（下側）：前曲を選ぶとき

ワンポイント

●CD-EXTRAは音楽データ部のみ再生することができます。
●Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
●Video-CDは再生することができません。
●CD-R/RWの記録状態により再生できない場合があります。
●CD-R/RWなどで、音楽データと音楽データ以外のデータが同一ディスク内に混在すると、正しく再生できない場合があります。
●CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
また、表示文字数は半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字まで表示できます。CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。

早送り･早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 、 を押し続けます。

- （上側）：曲を進めるとき
- （下側）：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

同じ曲を繰り返して聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

●一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。



曲の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

●一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

●同じ曲が数回連続で再生されることがあります。



聞きたい曲を探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

●全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。



CDを止める

1 **PWR** を押します。

●もう一度押すと再生が再開されます。

CD

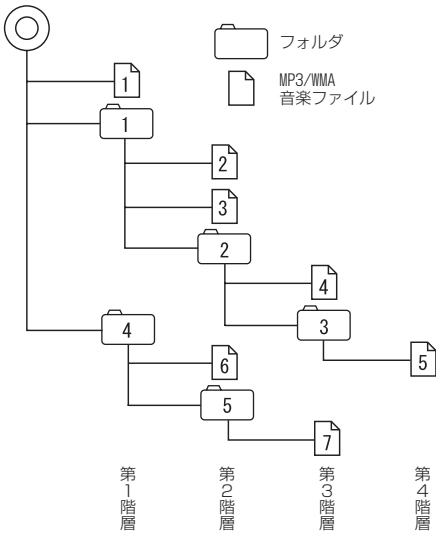
MP3/WMAプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ ファイル切り替えスイッチ
:フォルダ
⑤ 機能スイッチ
⑥ 選曲・頭出し・早送り（早戻し）スイッチ

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例を元に説明しています。

<MP3/WMAファイル作成例>



MP3/WMAを聞く

ディスク差し込み口に CD を差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **MP3 WMA** にタッチします。

- 再生を始めます。
- CD を差し込むと、差し込まれた CD が音楽CD かMP3/WMA かをチェックするため、再生までに時間がかかる場合があります。
- 通 常 は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に再生します。

ワンポイント

- CDにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、以下の文字数を表示することができます。
  - フォルダ名 { オンスクリーン表示：半角８文字、全角４文字 / タッチスイッチ表示：半角１２文字、全角６文字 }
  - ファイル名 { オンスクリーン表示：半角１２文字、全角６文字 / タッチスイッチ表示：半角１４文字、全角７文字 }
- CD-R/RWの記録状態により再生できない場合があります。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ（ ）にタッチします。

●選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

ファイル切り替えスイッチから選ぶ

1 音楽ファイルのスイッチにタッチします。

●音楽ファイルのタッチスイッチが明るくなり、再生が始まります。また、表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

●同じフォルダ内に音楽ファイルが９個以上ある場合は、∧ ∨ にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。
（走行中は操作できません）

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 、または を押します。

●（上側）：
次の音楽ファイルを選ぶとき
（下側）：
前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 、 を押し続けます。

●（上側）：曲を進めるとき
（下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

１つ上の階層を表示する

再生している階層よりも 1 つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

●表示している 1 つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。

注意

MP3/WMA ファイル作成例については 80 ページを参照してください。
画面に “2”、“3”、“2” の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“1”、“1”、“4” の第 1 階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3/WMAプレーヤーの使い方(AVN4405Dのみ)

現在の階層を表示する

1 **HOME** にタッチします。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。



順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中からファイルを選び出し再生します。
- **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。



ワンポイント

MP3/WMAファイル作成例については80 ページを参照してください。
第３階層の [4] を再生中、画面に “[2]”、“[3]”、“[2]” の第２階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、“[4]”、“[3]” の第３階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

●再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。再度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。



音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

●ファイルの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり、TITLE OFF にタッチするとフォルダ / ファイル切り替えスイッチに表示が切り替わります。



MP3/WMA を止める

1 PWR を押します。

●再度 PWR 押すと再生が再開されます。

ワンポイント

タグ情報（アーティスト名やアルバム名）が記録されているときは、MP3では半角文字で最大30文字、全角文字で最大15文字まで、WMAでは半角文字で最大15文字、全角文字で最大15文字までそれぞれ表示できます。

MP3/WMAプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

MP3/WMAについて

本機で使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

MP3エンコーダソフト名			適合
名称	バージョン	メーカ	
MP3 JUKEBOX6	Ver 6.00.2097SMI	キャノンシステムソリューションズ	○
MP3 JUKEBOX7	Ver 7.10.4067SMI	キャノンシステムソリューションズ	○
Audio TOYBOX	Ver 1.10	Landport	○
MP3 StudioUnreal2	Ver 2.31	Landport	○
MP3 real juke Box2	Ver 1.0.2.264	ASCII	○
MP3 Audio Magic	Ver 1.12	TDK	○
MP3 Audio Magic Professional	Ver 4.0	TDK	○
DVD/MP3 Jet-Audio	Ver 4.95DVD	NOVAC	○
MAGIX MP3!	Ver 3.06	プロトンソフトボード事業部	○
BeatJAM X-treme	-	ジャストシステム	○
BeatJAM XX-treme	-	ジャストシステム	○

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格　　：MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ）
●サンプリング周波数（kHz）：44.1、48
●固定ビットレート（kbps）：64～320
※フリーフォーマットには対応していません。
※MPEG1、2でビットレートが異なります。
●対応チャンネルモード　：ステレオ、モノラル、デュアル、ジョイント

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格　　：WMA Ver.7、8、9
●サンプリング周波数（kHz）：44.1、48
●固定ビットレート（kbps）：48～160

※VBRに対応しています。（48～160 kbps）
※可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
※サンプリング周波数と対応ビットレートの組み合わせについては、下記の表を参照してください。

サンプリング周波数 / ビットレート（bps）	48k	44.1k
160k	○	○
128k	○	○
96k	×	○
64k	×	○
48k	×	○
VBR	○	○

○：再生可
×：再生不可

※ 最大160kbps。

ID3タグ/WMAタグについて

本機はID3v.1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。（Ver 2.xには対応していません。）日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

WMA ファイルには、WMA タグ（v1.20.02 に対応）と呼ばれる付属文字情報を入力することができます。ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができ、WMAタグ情報を表示することができます。

使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R/RWです。

なお、CD-R/RW は通常の音楽 CD に使用されている CD-ROM に比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R/RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音とびする場合があります。

一部のCD-R/RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R/RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

MP3/WMAプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

●ディスクフォーマット：CD-ROM（MODE1）、CD-ROM XA（MODE2 Form1）

●ファイルフォーマット：ISO9660レベル1、レベル2（日本語不可）
ROMEO形式、JOLIET形式

日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合は Romeo 形式またはJOLIET形式（日本語可）で書き込まないと文字化けします。

また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層　：8階層

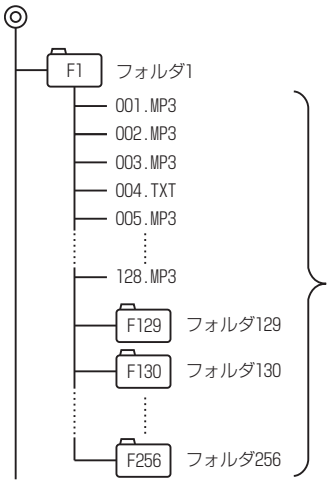
●最大フォルダ名／ファイル名文字数

表示項目	最大表示可能文字数
ファイル名	オンスクリーン表示　：半角12文字、全角6文字 タッチスイッチの表示　：半角14文字、全角7文字
フォルダ名	オンスクリーン表示　：半角8文字、全角4文字 タッチスイッチの表示　：半角12文字、全角6文字
タグ情報	ID3タグ　：全角30文字、半角15文字 WMAタグ：全角15文字、半角15文字

●フォルダ名／ファイル名使用可能文字：ISO9660表示可能文字..... A～Z、0～9、_（アンダースコア）

：拡張フォーマット表示可能文字....英数字、日本語（漢字第二水準程度）

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



最大フォルダ数：128個

最大ファイル数：256個

1つのCD-Rに格納できるフォルダとファイルの総数が256個です。

＜例＞

・「フォルダ数：128個」＋「ファイル数：128個」＝256個

・「フォルダ数：64個」＋「ファイル数：192個」＝256個

・「フォルダ数：28個」＋「ファイル数：228個」＝256個

●一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数：256個

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子".MP3/WMA"が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、"MP3/WMA" の拡張子を付けて保存してください。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3を追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。（消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。）
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません。）
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、"CDを閉じる"や"CDの終了処理をする"ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。）

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記したCD-R/RW の再生が可能です。ただし、"Track at once" で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスクを差し込んでから約10秒以内にチェックが終わりますと最初のMP3/WMAファイルを再生します。約10秒以内にチェックが終わらなかった場合は、いままで聞いていた音楽やTVなどを引き続き再生しますが、**MP3 WMA** にタッチすることによりMP3/WMAファイルを再生させることができます。

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。

ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

また、マルチセッションディスクは CD の管理情報取得に時間がかかりますのでシングルセッションで書き込むことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にある MP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示



MP3/WMA以外のファイルに"MP3/WMA"の拡張子を付けると､MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに、"MP3/WMA" の拡張子を付けないでください。

MP3/WMAファイルの再生順番

MP3/WMAファイルを再生する順番は次の通りです。

●通常の再生時
ディスク内に書き込まれている MP3/WMAファイルを再生します(*2)。

（例）「001.MP3」→「002.MP3」→「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→ … →「011.MP3」→「001.MP3」→ …

●「002.MP3」を再生中に **SCAN** にタッチしたとき
「002.MP3」のある階層のMP3/WMAファイルの SCAN 再生を開始します(*3)。

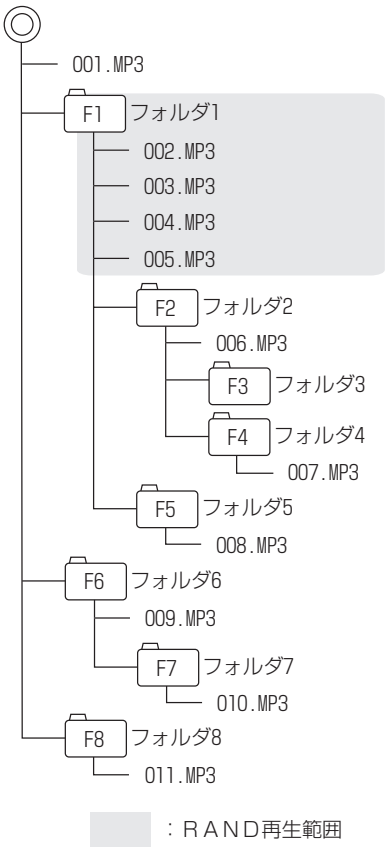
（例）「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→ SCAN停止→ 通常の再生に戻り「002.MP3」を再生

●「002.MP3」を再生中に **RAND** にタッチしたとき
「002.MP3」のある階層のMP3/WMAファイルのRAND再生を開始します。

（例）「004.MP3」→「002.MP3」→「005.MP3」→「003.MP3」→「002.MP3」→ ･･･
右図のアミのかかった範囲内でRAND再生します。

●MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初に「001.MP3」のMP3/WMAファイルを再生します。

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



（*2）：同一階層に複数のMP3/WMAファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に選び再生します。

（*3）：同一階層に複数の MP3/WMA ファイルが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に選び再生します。

MP3/WMAプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、さまざまな MP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販の MP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA 形式の音楽データファイルができます。12cm の音楽 CD1 枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されている CD-R/RW ドライブを介して CD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル 1 またはレベル 2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。

ディスクフォーマットはCD-ROM（MODE1）、CD-ROM XA（MODE2 Form1）を選択してください。

CD-R/RWを再生する場合

MP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込みます。自動的に音楽CDかMP3/WMA ファイルのCD-R/RWかを認識して再生します。また、CD-R/RWに記録した音楽CDも再生できます。ただし、ディスクの種類によって、再生できない場合もあります。

ワンポイント

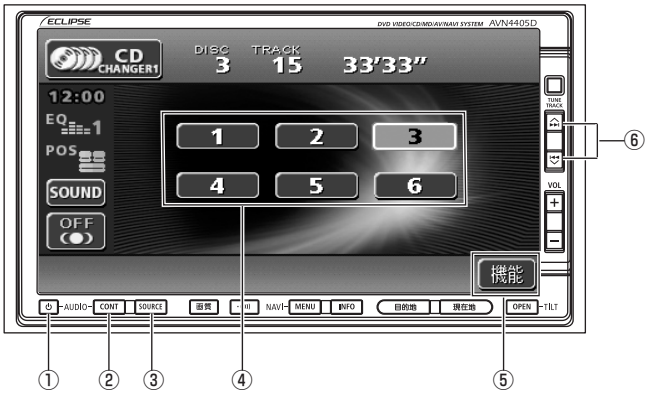
- ●安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- ●フリーフォーマットは対応していません。
- ●CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ●MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコードソフトが存在し、エンコードの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ●ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ●走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。

MEMO



CDチェンジャーの使い方

オプションのCDチェンジャーを接続すると操作できます。



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ ディスク切り替えスイッチ
⑤ 機能スイッチ
⑥ 選曲・頭出し・早送り（早戻し）スイッチ

CDを聞く

1 SOURCE を押します。

2 CDチェンジャー 1台を接続している場合は CD CHANGER1 に、CDチェンジャー2台を接続している場合は CD CHANGER1 または CD CHANGER2 にタッチします。

ワンポイント

- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに差し込めるCDの枚数分を表示し、差し込んだディスク番号のみ選択することができます。
- CDチェンジャーにDISCが入っていない場合には、動作しません。
- CDチェンジャーが2台接続されているときは、CD CHANGER1・CD CHANGER2 でオプションの CD チェンジャーデッキおよび CD チェンジャーを切り替えることができます。

聞きたい曲を選ぶ

「聞きたい曲を選ぶ」78 ページを参照してください。

早送り・早戻しする

「早送り・早戻しする」79 ページを参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

1 CDのディスク切り替えスイッチをタッチします。

●選択されたCDの番号が反転します。

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「同じ曲を繰り返して聞く」79 ページを参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **DISC RPT** にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。



CDチェンジャーの使い方

曲の順番をランダムに聞く

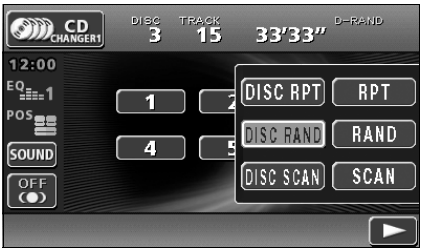
いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「曲の順番をランダムに聞く」79 ページを参照してください。

チェンジャー内全ＣＤの中からランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 DISC RAND にタッチします。



- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 DISC RAND にタッチすると解除されます。
- 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

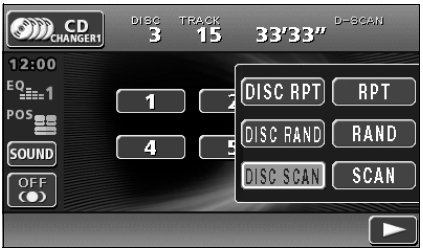
「聞きたい曲を探す」79 ページを参照してください。

聞きたいCDを探す

1 機能 にタッチします。

2 DISC SCAN にタッチします。

●CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの 10 秒間だけ順に再生します。もう一度 DISC SCAN にタッチすると、そのまま再生を続けます。



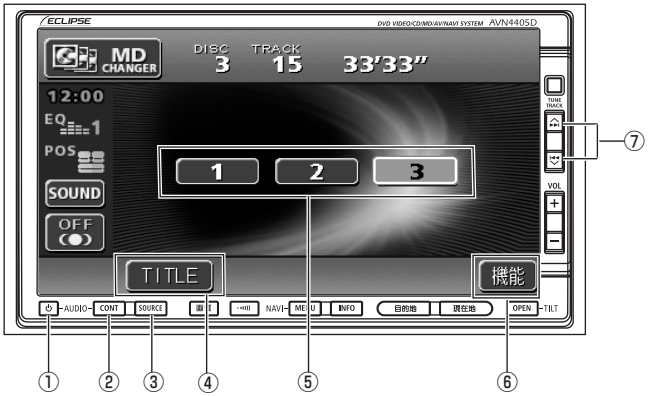
CDを止める

1 PWR を押します。

●もう一度押すと再生が再開されます。

MDチェンジャーの使い方

オプションのMDチェンジャーを接続すると操作できます。



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ タイトルスイッチ
⑤ ディスク切り替えスイッチ
⑥ 機能スイッチ
⑦ 選曲・頭出し・早送り（早戻し）スイッチ

MDを聞く

1 MDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 MD CHANGER にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭ （上側）：次曲を選ぶとき
⏮ （下側）：前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ⏭、⏮ を押し続けます。

● ⏭ （上側）：曲を進めるとき
● ⏮ （下側）：曲を戻すとき
早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたい MD を選ぶことができます。

1 MD のディスク切り替えスイッチをタッチします。

●選択されたMDの番号が反転します。

ワンポイント

●ディスクの切り替えスイッチは、MDチェンジャーに差し込めるMDの枚数分を表示し、差し込んだディスク番号のみ選択することができます。
●MD チェンジャーが接続されているときは、MD CHANGER にタッチすると切り替えることができます。

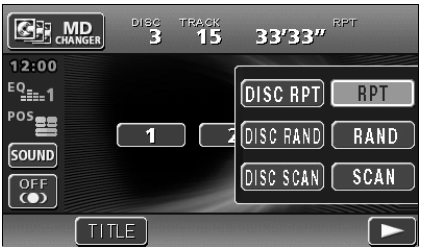
聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

●一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。再度 **RPT** にタッチすると解除されます。



いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **DISC RPT** にタッチします。

●一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。



MDチェンジャーの使い方

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 RAND にタッチすると解除されます。
- 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。



チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 DISC RAND にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 DISC RAND にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。



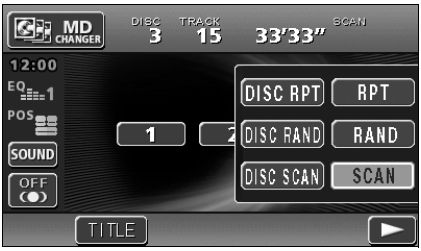
チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

●全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、再度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

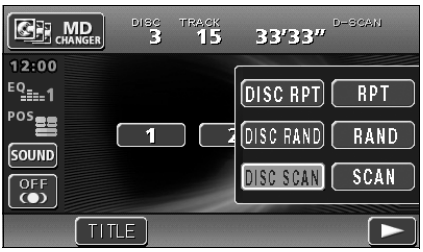


聞きたいMDを探す

1 機能 にタッチします。

2 DISC SCAN にタッチします。

●MDチェンジャー内全MDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。再度 DISC SCAN にタッチすると、そのまま再生を続けます。



MDのタイトルや曲名などを表示する

1 TITLE にタッチします。

●タイトルや曲名などの表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり、TITLE OFF にタッチするとDISC切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MDを止める

1 PWR を押します。

●もう一度押すと再生が再開されます。

ワンポイント

MDにタイトルや曲名が記憶されているとき表示することができます。また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮からパーキングブレーキをかけた状態の場合のみ、TVをご覧になることができます（走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります）。



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ プリセットスイッチ
⑤ AUTO.Pスイッチ
⑥ 選局スイッチ

ワンポイント

●地上デジタルテレビ放送を見るには

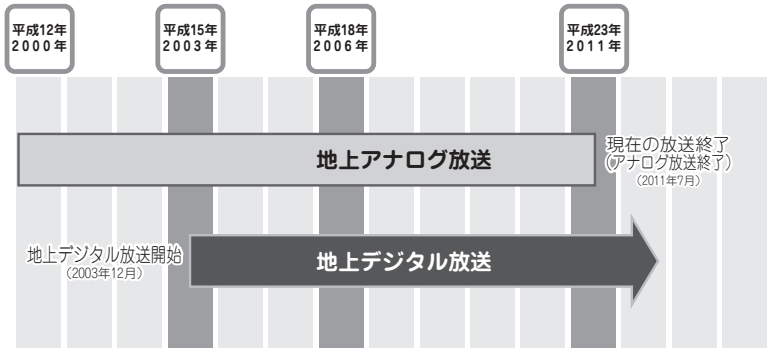
本機は地上デジタルテレビ放送を将来的に楽しむための拡張機能を装備しております。

本機能は別売の地上デジタル放送チューナーユニットを接続した場合にご使用になれます。

＜地上デジタル放送とは＞

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。

該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



ワンポイント

地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。
そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
・今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
・今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。
また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
・チャンネルと放送局名が一致しない。
・プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
・プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。
このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。
これらの場合は、AUTO.Pスイッチ・選局スイッチ（102 ページ参照）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

TVを見る

1 SOURCE を押します。

2 TV にタッチします。

●TV画面になります。
● CONT を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

ワンポイント

●TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
●TV画面を表示中に画面をタッチしても、TV操作画面が表示されます。
●後席用モニター（別売）を接続すると、走行中でも後席でTVを見ることができます。

TVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 、 を押す 、または ∧、∨ にタッチします。

●押すごとに 1 ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

（上側）：
チャンネルUP（大きくなる）

（下側）：
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

1 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または ∧、∨ に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

●現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

●受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

●チャンネルの記憶方法は**「チャンネルを記憶する」**を参照してください。

2 決定 にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面の上部に表示されていないことを確認します。

●表示されているときは 機能 にタッチし、AUTO.P または エリア （104ページ参照）にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、AUTO.P にタッチすると、元の記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

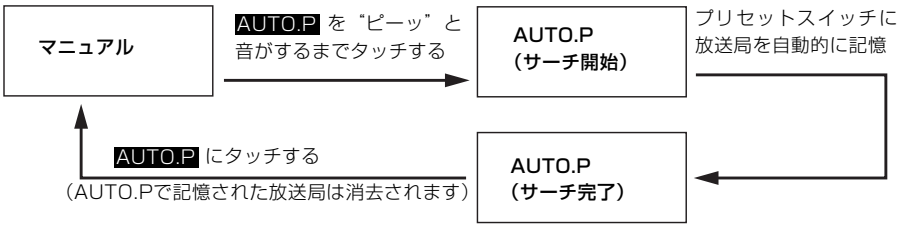
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

■AUTO.Pについて

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます)

AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルと AUTO.P スイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが 8 局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TVの使い方

TV設定画面の切り替え

TV モードでは、TV 設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
  - ・エリアプリセット
  - ・局名スイッチ
  - ・音声多重放送の切り替え
  - ・画面モード（ワイドモード）の切り替え
- 音質・音量バランスの調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶



1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などを行うことができます。
- **戻る** にタッチすると TV 操作画面に戻ります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。



2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、元の画面に戻ります。



局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルで放送局名が重複している地域で表示されます。

1 **機能** にタッチします。



2 **局名** にタッチします。

●放送局名を選択します。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。



2 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主・副音声 MAIN・SUB



TV

ワンポイント

●放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
●2ヶ国語放送を受信したときは、二 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

TVの使い方

TVモードを終わる

1 PWR を押します。

- もう一度押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）の音声のみが再受信されます。
- SOURCE を押して、TV にタッチすると、受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。

MEMO



DVDプレーヤーをお使いになる前に（AVN4405Dのみ）

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は・・・

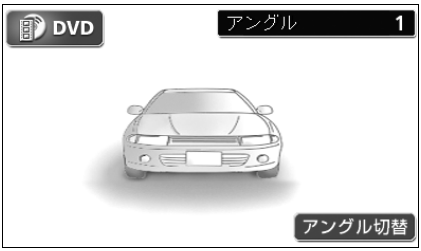


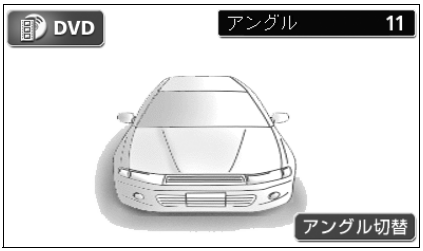
This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

※ディスクによっては複数のアングルが収録されていない場合もあります。





映像のアングルが切り替わります。

注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。





ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
DVD VIDEO	12cm／片面　1層 2層	＜Mpeg 2方式＞ 133分 242分
DVD VIDEO	12cm／両面　1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには (地域番号) が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

ワンポイント

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDプレーヤーをお使いになる前に（AVN4405Dのみ）

ディスクに表示されているマークについて

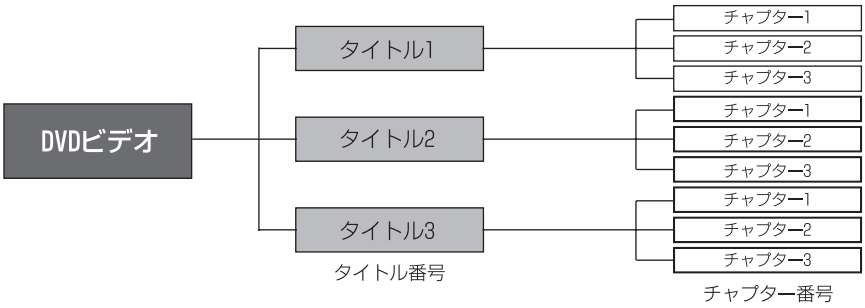
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（テレビ画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

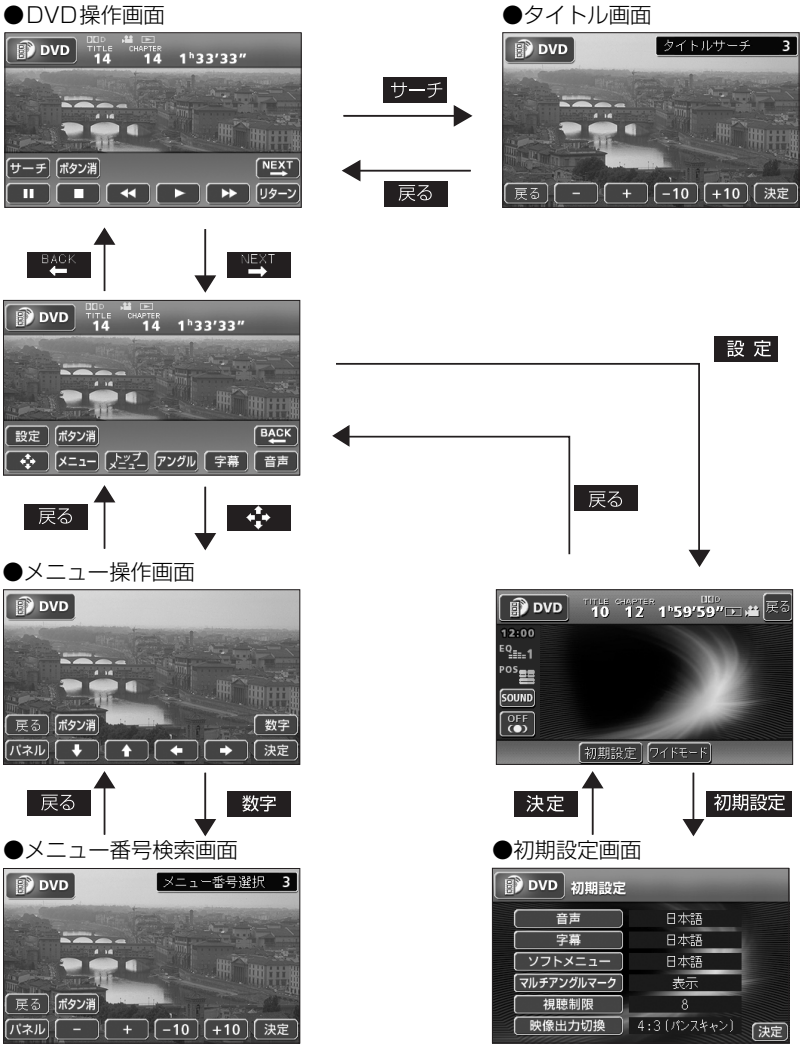
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

●タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。



DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮からパーキングブレーキをかけた状態の場合のみ、DVDをご覧になることができます。（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ
④ ボタン消スイッチ
⑤ タイトル番号
⑥ チャプター番号
⑦ 再生時間
⑧ チャプター切り替え
早送り（早戻し）スイッチ

DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、自動的に再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、**CONT** を押す、または画面にタッチします。

映像を操作する

以下のタッチスイッチで操作できます。

タッチスイッチ	機　能
▶	再生するときにタッチします。
■	停止します。
❚❚	一時停止します。一時停止中に ❚❚ にタッチすると、コマ送り再生します。
▶▶	早送りします。一時停止中に短くタッチするとスロー再生します。
◀◀	早戻しします。
リターン	ディスクの指定された位置に移動し、再生します。

ワンポイント

- タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニューを選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」**114ページを参照してください。
- 後席用モニター（別売）を接続すると、走行中でも後席でDVDを見ることができます。

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。



早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ⏭、または ⏮ を押し続けます。

- ⏭（上側）：映像を進めるとき
  ⏮（下側）：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ⏪、または ⏩ を押し続けます。

- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



映像を一時止める

1 ⏸ にタッチします。

- 一時停止中（ ⏸ ）、⏩ に短くタッチするとスロー再生、⏸ にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

1 ■ にタッチします。



DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 **メニュー** または **トップメニュー** にタッチします。

3 ✥ にタッチします。



4 ↓ ↑ ← → にタッチし、再生したい映像を選びます。



5 **決定** にタッチします。

DVDを止める

1 **PWR** を押します。

- 再度 **PWR** 押すと再生が再開（音声のみ）されます。
- **SOURCE** を押して、**DVD** にタッチすると、再生を始めます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 ⏭、または ⏮ を押します。

- ⏭（上側）：次のチャプターを選ぶとき
- ⏮（下側）：前のチャプターを選ぶとき



ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

タイトル番号から探す

1 DVD操作画面で **サーチ** にタッチします。

●タイトル番号入力画面が表示されます。





2 **－**、**＋**、**－10**、**＋10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

●**－**、または **＋** にタッチすると、タイトル番号が 1 ずつ切り替わります。

●**－10**、または **＋10** にタッチすると、タイトル番号が 10 ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 DVD 操作画面で **NEXT** にタッチします。

2 **✥** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

●メニュー番号入力画面が表示されます。





次ページに続く

DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

4 **－**、**＋**、**－10**、**＋10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **－**、または **＋** にタッチすると、タイトル番号が 1 ずつ切り替わります。
- **－10**、または **＋10** にタッチすると、タイトル番号が 10 ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

タッチスイッチの表示を切り替える

タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 DVD操作画面で **ボタン消** にタッチします。

- **CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 DVD 操作画面で **NEXT** にタッチします。

2 **✥** にタッチします。



3 **パネル** にタッチします。

- タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



パネル ⇩ ⇧ **パネル**



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 マルチアングルマークが表示されているときに **アングル** にタッチします。

●アングル番号が表示されます。



●マルチアングルマークは、DVD再生画面でも表示されます。



3 **アングル切替** にタッチします。

●アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。



ワンポイント

●**アングル切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。
●マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると（122 ページ）、DVDビデオ再生時（フルスクリーン中でも）、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切替** にタッチします。

●字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。



ワンポイント

●**字幕切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。

●字幕切替は、ディスクによりトップメニューでしか切り替わらない場合があります。

音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切替** にタッチします。

●音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。



ワンポイント

● **音声切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

音声１ → 音声２ → 音声…

●音声切替は、ディスクによりトップメニューでしか切り替わらない場合があります。

●Dolby、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。

DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **初期設定** にタッチします。



●初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機　能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	121
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	121
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	122
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示･非表示を設定します。	122
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	123
映像出力切換	画面サイズを設定します。	124

ワンポイント

初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（ **CONT** 、 **SOURCE** ）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で ▶ にタッチします。（113 ページ参照）

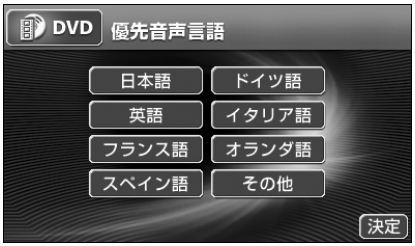
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**125 ページを参照してください。



3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

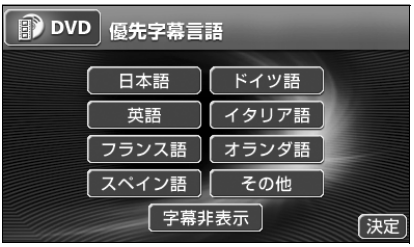
再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

● **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**125 ページを参照してください。



3 **決定** にタッチします。

ワンポイント

選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

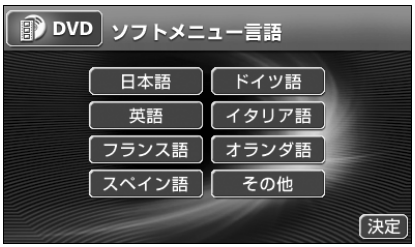
メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**125 ページを参照してください。



3 **決定** にタッチします。

マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。



1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

●タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。

2 **決定** にタッチします。



ワンポイント

●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
●マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、DVDビデオ再生時（フルスクリーン中でも）、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。

ワンポイント

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「－－－－」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。

  レベル1 . . . . . .子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）

  レベル2～7 . . . . .子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）

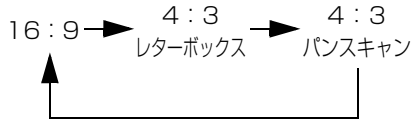
  レベル8 . . . . . .すべてのDVDソフトを再生します。（初期設定）

DVDプレーヤーの使い方（AVN4405Dのみ）

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

●タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。





2 **決定** にタッチします。

●「16：9」
通常のワイドサイズで表示されます。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

●「4：3〔レターボックス〕」
上下両端が黒く表示された映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

●「4：3〔パンスキャン〕」
左右両端がカットされた映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

ワンポイント
後席用モニター（別売）などの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニター（別売）で表示されるサイズは異なります。

注意
お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

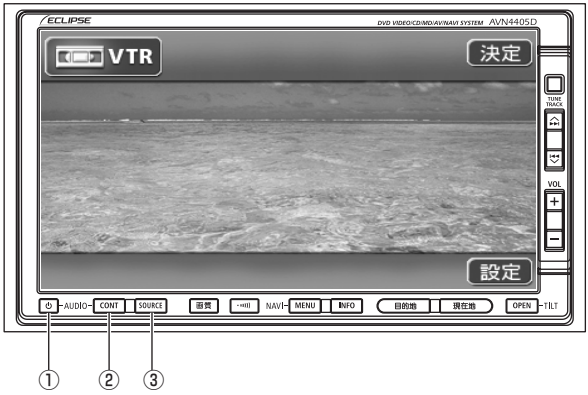
コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮からパーキングブレーキをかけた状態の場合のみ、ビデオをご覧になることができます（走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります）。VTR機器を接続する場合は、販売店で「VTR接続コード」をお買い求めください。



① パワースイッチ
② CONTスイッチ
③ SOURCEスイッチ

VTRを見る

1 SOURCE を押します。

2 VTR にタッチします。

- VTR画面になります。
- CONT を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 音質・音量バランスの調整
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え

1 設定 を押します。

- 音質・音量のバランスや画面モードの切り替え操作などを行うことができます。
- 戻る にタッチすると VTR 操作画面に戻ります。



VTRモードを終わる

1 PWR を押します。

●もう一度押すと再生が再開（音声のみ）されます。

● SOURCE を押して、VTR にタッチすると、電源を切る前の映像が再生されます。

ワンポイント

●VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
●VTRを表示中に画面をタッチしても、VTR操作画面が表示されます。
●接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。
●後席用モニター（別売）を接続すると、走行中でも後席でVTRを見ることができます。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD・MD検索中です。	CD・MDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CD・MDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CD･MDのふたが開いています。	CD・MDチェンジャーの扉が開いているため。	CD・MDチェンジャーの扉を閉めてください。
CD・DVDをお確かめください。	CDまたはDVDが汚れている､または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください｡裏返しのときは正しく入れてください。
CDが入っていません。	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入ってないため。	音楽CDを入れてください。
異常検知でCD停止中です。※1	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
異常検知でDVD停止中です。※1	なんらかの原因でDVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温のためCD停止中です。※2	CDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで､しばらくそのままでお待ちください。
高温のためDVD停止中です。※2	DVDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで､しばらくそのままでお待ちください。
CDマガジンが入っていません。	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
○○枚目のCDをお確かめ下さい。	CDチェンジャーの○○枚目のCDが読めません。	音楽CDが正しく入っているかご確認してください。
ディスクが入っていません。	DVDプレーヤーにディスクが入っていない（または裏返しになっている）場合や、MP3/WMAディスクが入っていないときに表示されます。	DVDディスクまたはMP3/WMAディスクをそれぞれの差し込み口に入れてください。DVDディスクが裏返しのときは正しく入れてください。
現在ご利用になれません。	DVDのメニューなどで操作できないものを選んだときに表示されます。	画面の表示にしたがって操作してください。
受け付けないコードです。	DVDに対応していない言語コードを選んだ場合などに表示されます。	DVDに対応している正しい言語コードを設定してください。
コード番号が正しくありません。	DVD視聴制限の暗証番号の入力が正しくない場合に表示されます。	正しい暗証番号を入力してください。

メッセージ	原因	処置
リージョンコードエラー	DVD ディスクに記録されている地域識別用のコードが、プレーヤーとディスク双方で一致しない場合に表示されます。	正しいDVDディスクをお使いください。
指定されたタイトル、チャプタはありません。	DVD ディスクに記録されていないタイトル、チャプタを選択したときに表示されます。	DVD ディスクに記録されているタイトル、チャプタを選択してください。
視聴制限がかかっており再生できません。	DVD プレーヤーの設定で視聴制限がかかっています。	視聴制限の設定を変更して操作してください。（123 ページ参照）
ディスクをお確かめ下さい。	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	正しいディスクをお使いください。

※1　イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2　この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表に基づき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症　状	考えられること	処置
低温時に電源を ON にした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
地図画面、オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的ノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 電磁波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っている CD・DVD をイジェクトしてから、お好みの CD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（34 ページ参照）
	CD・DVD に大きな傷やソリがある。	他の CD・DVD を入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。 （35 ページ参照）
	CD・DVD が裏返しになっている。	CD・DVD を正しい向きで差し込んでください。
	対応していない CD・DVD が差し込まれている。	対応している CD・DVD を入れてください。（34 ページ参照）
画面に CD CHANGER1、CD CHANGER2 が表示されない。	CD チェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。

症　状	考えられること	処置
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE を押してください。（66 ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない。（停車中）	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない。	VTR入力になっている。	SOURCE を押してから、TV にタッチしてください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは 99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

用語説明

CD-R
（Compact Disc Recordable）

データを一度だけ書き込めるCDのことです。いったん書き込まれたデータは消去できません。容量は通常のCDと同じ650MB（音楽74分相当）のものと、700MB（音楽80分相当）の2種類があります。

CD-DA
（Compact Disc Digital Audio）

音楽データの記録・再生のための規格です。1トラックに1曲書き込まれ、CD には最大74分まで収めることができます。

CD-RW
（Compact Disc ReWritable）

相変化記録方式を採用し、任意のデータを何度でも書き込んだり消去したりできる CD のことです。容量は700MB（音楽80分相当）です。

スーパーオーディオCD
（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。
スーパーオーディオ CD には以下の種類があります。

- ●シングルレイヤーディスクHD層[*1]が1層のみのディスク。
- ●デュアルレイヤーディスクHD層が2層のディスク。
- ●ハイブリッドレイヤーディスクHD層とCD層[*2]が合わさった2層のディスク。

[*1] HD層：　スーパーオーディオCDの高密度信号層

[*2] CD層：　既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPC データトラックを1枚のメディアの中にマルチセッション（CDに複数のセッションで記録する、または複数のセッションで記録されたCDタイトル）で書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降に PC データトラックを記録するため、音楽 CD プレーヤーは第2セッション以降の PC データトラックを再生することがなくなります。

MP3
MP3 は MPEG Audio Layer Ⅲ の略で、MPEG Audio Layer3 は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約 1 ／ 10 のサイズにすることができます。

ID3タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3 タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

コピーコントロールCD（CCCD）
(Copy Control CD)
パソコンなどでのコピーやリッピング（CDに記録されている音声を、パソコン上にデータとして取り出したり、ファイル化すること）ができないようにコントロール（制御）しているCDです。

シースルーディスク
(C-thru Disc)
記憶部分に、透明または半透明のあるCD。

エンコーダ
WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

セッション
CD- R 、CD- RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

UDF
(Universal Disc Format)
OS に依存しない光ディスク用のフォーマットの一つです。DVDやCD-RWなどに採用されているフォーマットです。

音声多重
テレビの音声はもともとモノラル（単一）でしたが、周波数の隙間を利用することで音声を多重化し、別の音声を送れるようになりました。音声多重としてはステレオ放送が一般的に利用されていますが、日本語・英語などの2音声で利用されることもあります。

トラック
音楽 CD では曲の 1 区切りをトラックといいます。

索引

五十音順

ア

明るさ 67
アングル切替 117
色合い 67
色の濃さ 67
エリアスイッチ .....75，104
音の調整 43
音質の調整 .....45，57
音声切替 119
音声多重放送 105

カ

画質調整画面 65
カットオフ周波数 56
壁紙の設定 64
画面モード切り替え 70
局名スイッチ .....76，105
継続表示 68
交通情報 75
コントラスト 67

サ

シースルーディスク 133
視聴制限 123
自動解除 68
字幕切替 118
主音量の調整 43
スーパーオーディオ CD .....35，132
操作音の設定 43
ソースメニュー画面 40

タ

タッチスイッチの表示場所を
　切り替える 116
地上アナログ放送 100
地上デジタル放送 100
チャンネルを記憶する 102
ドルビー 34

ハ

ハーモナイザー 49
背景画 64
標準画モード 70
昼画表示 65

マ

マルチアングルマーク 122
メニュー言語の設定 122

ヤ

優先画面の設定 68
夜画表示 65

ラ

ラジオの使い方 72

ワ

ワイド 1 画モード 70
ワイド 2 画モード 70
ワイド 3 画モード 70
ワイドモード 70

アルファベット/数字

A

AREA.P ..... 75，104
AUTO.P ..... 73，102

C

CCCD(Copy Control CD) 35
CD-EXTRA ..... 78，132
CD-RW（CD-ReWritable） 34
CD-R（CD-Recordable） 34
CD チェンジャーの使い方 92
CD プレーヤーの使い方 78
Circle Surround II 49
C-thru Disc 34

D

DISC RAND 94
DISC RPT 93
DISC SCAN 95
DSP 58
DVD ビデオの特長 108
DVD プレーヤーの使い方 112

E

EQ ..... 50，59
EQ カーブ ..... 51，59
EQ プリセット 51

F

FADER BALANCE 54

H

HARMONIZER 49

I

ID3 タグ ..... 85，133

L

LOUD(AVN2205D) 63
LOUDNESS(AVN4405D) 48

M

MD チェンジャーの使い方 96
Mixed Mode CD 78
MP3/WMA プレーヤーの使い方 80

P

POS ..... 53，61

Q

Q（カーブ特性） 52

R

RAND 79
RPT 79

S

SCAN 79

T

TRU BASS 48
TV 設定画面 104
TV を見る 101

V

Video-CD 78
VOLUME スイッチ 43
VTR 接続コード 126
VTR の使い方 126

W

WOOFER 55

MEMO

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

0120-022210

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00

（土・日・祝日などを除く）

富士通テン株式会社

〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話　神戸（078）671-5081

PRINTED WITH SOY INK

Trademark of American Soybean Association

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社　2005

090002-2824A700 0508K(N)